

沢田地区文化祭

文化祭(藤田登実行委員長)は、10月24日～25日に沢田自治センター-体育館で開催しました。

児童館の子どもから高齢者(最高齢者96歳)まで、多くの方々からオブジェをはじめ盆栽、コケ玉、活け花、写真、(秘蔵写真あり)、手工芸、絵画、書道、陶芸、粘土作品、機織、クラフトバック、リフォーム作品、懐かしい昭和レトロ展などすばらしい作品を展示していただきました。

幸い天候にも恵まれ、町内はもとより近隣市町村からも多くの方にご来場いただき、見学に来られた方は、作品の多さと質の高さに感心していた様子でした。

また、24日には、沢田長寿会(長谷部進会長)による新鮮野菜の販売も行われ好評でした。

コロナ禍に注意し、無事開催できましたことは、偏に出展者をはじめとして多くの方々のご協力のお陰です。心から感謝申し上げます。



防犯・交通安全表彰

このたび、多年にわたり地域安全活動の推進や青少年の非行防止並びに地域における交通事故防止活動に尽力された方々の功労をたたえ、表彰状が贈られました。

沢田地区では、次の方々を受賞しました。受賞おめでとうございます。

- ◇ 福島県防犯協会連合会長・福島県警察本部長連名表彰
防犯功労者 小林 典子
- ◇ 福島県警察本部長・福島県交通安全協会連名表彰
交通安全功労者 前田 光男
優良運転者 中島 京子

白鳥の会 来年3月まで中止

沢田地区ミニディサービス白鳥の会(郷徹会長)は、現在、コロナウイルス感染症予防のため中止しています。

10月22日、役員会で今後の活動について協議しました結果、参加者の安全・安心を第一に考え、令和3年3月までの実施を見合わせる事になりましたので、お知らせいたします。

【自主防災部会活動報告】

沢田地区自治協議会自主防災部会(郷徹部会長)は、10月14日、沢田自治センターにおいて部会議を開催しました。

会議では、平常時の活動として、防災知識の普及啓発活動、防災訓練、防災用備品等の整備を行うこと。

また、災害時の対応として、石川町から避難指示があった場合、又は台風大雨等の被害が事前に予測できる場合は、部会長の判断により緊急に自主防災部会議を開催し、情報共有、避難誘導、被害の軽減等を図るための応急対策をすることなどを協議しました。

◎ 主な応急対策

- ① 沢田自治センターに避難所を開設し、町と連絡を取りながら対応する。
- ② 災害情報の収集把握、支援が必要な方の安否確認、地区内巡回、避難誘導等を行う。
- ③ 道路の通行止め箇所が発生した場合は、消防団に依頼して対応する。
- ④ 復旧作業等

被災した区内の対応(石川町への支援要請等)は、区長が中心となりますが、自主防災緊急会議が側面から支援する。

また、区長等を通じて、ボランティアの募集を行い、被災していない或いは被害が少ない区の方が他の区を支援できるようにする。(共助の考え)

◎ 自治センターを拠点に活動

- ① 自主防災部会は、区長、副区長等で組織していますが、災害発生時には、自治協議会長をはじめ安心安全部会長、健康福祉部会長など関係者が連携して対応する。
- ② 事務局は、自治センター職員が担当し、関係団体等の連絡調整事務にあたる。

【児童館避難訓練実施】

沢田児童館では、10月13日、石川消防署員から火災や避難についての話を聞き、防火意識を高めるとともに煙体験や子供用消防服の着用など体験しました。

また、職員も通報訓練や消火訓練の指導を受けました。

訓練終了後、児童からは、消防士の仕事に関心がもたれ、将来、消防署員になりたいなどの声も聞かれました。



【交通安全教室と立看板設置】



沢田交通安全母の会(郷喜代子会長)は、10月26日、沢田児童館で交通安全教室を開き、会員による紙芝居の読み聞かせや横断歩道の渡り方の実演が行われ、児童は真剣に取り組んでいました。

また、母の会は、10月28日、安心安全部会(中島世一部会長)と共催し「歩行者のために そして あなたのために スピードを落としてください」や「スピード確認！ここは40キロです。」の交通立看板を作成し、県道沿いに設置しました。悲惨な交通事故に遭わないよう注意しましょう！

【図書のご案内】

10月27日から11月9日まで文化の日を中心に読書週間が行われています。

沢田自治センターに生田目美津枝さんから「こども百科事典-えいご」「女優志願」など多数の書籍を、飯村和美さんから「コクリコ坂から」「天空の城ラピュタ」など多数寄贈されました。読書の秋です。貸出しを行っていますので、ご利用ください。